

平成24年度 富山の魅力発信プロジェクト プレゼンテーションまとめ
 (南砺市班「里山のくらし」チーム)

【東京側の発表】

タイトル	「世界昼寝遺産」～五箇山を世界一の昼寝の里にしよう～	
提案内容	課題設定	「地元の人たちが地元のよいところに気づいていない。もっと気づいてもらって誇らしげに思ってもらいたい。」 五箇山において、 ・様々な資源があるがコンテンツがつながっていない。 ・観光産業が中心の五箇山は素通り客、宿泊者数も減少傾向にある。
	提案のコンセプト	「世界遺産で昼寝をしよう！」体を動かして、お腹いっぱい食べ、寝る。遊ぶ、食べる、くつろぐということを「昼寝」で結びつけることで、南砺のスローな時間、雰囲気伝え、体感できる仕掛けを作る。
	具体的方策	第一弾：「五箇山昼寝マップ」の作成…昼寝ができるスポットを紹介 第二弾：「昼寝コンシェルジュ」の設置…五箇山を最高に満喫するための提案を行う。
提案資料抜粋		

【富山側の発表】

タイトル	「昼寝リゾート」～世界遺産で昼寝をしよう！～ 観光客にスローな時間・人・自然・文化を体感してもらい、ゆったりとしたときを過ごしてもらおう。	
提案内容	課題設定	五箇山での情報発信において様々なコンテンツのつながりが不十分、「素通り客」の増加
	提案のコンセプト	世界遺産で昼寝しよう！…都会で時間に追われて生活している人たちにターゲットにし、自然や人を通じて五箇山でスローな時間を体感してもらおう。
	具体的方策	・五箇山でカラダを動かし、お腹いっぱい食べ、お昼寝をするモデルプランを作成、お昼寝ツアーの開催 ・お昼寝を楽しむツールづくり（のぼり、お昼寝コンシェルジュチャート、お昼寝マップ等） ・快眠アイテムの製作（五箇山和紙を使用した光の演出、リラックスを促す音楽や香り等）
提案資料抜粋		